

## 「かがやき教室／はばたき教室」とは

さいたま市では、小学校の発達障害・情緒障害通級指導教室を「かがやき教室」、中学校を「はばたき教室」とよんでいます。

通常の学級において日常生活や集団参加、一部学習において困難を示す児童生徒に、より良い学校生活が送られるよう支援していくために設置された教室です。

児童生徒の多くの可能性を信じ、彼ら一人ひとりの健やかな成長をサポートしていきます。

\*通級するときは、原則として保護者の付き添いが必要です。



## 対象となる児童生徒とは

通常の学級の学習におおむね参加できるが、一部特別な支援を必要とする児童・生徒です。

- ・落ち着きがなく集団参加が苦手な子
- ・特定のものに強いこだわりがある子
- ・友だちとのかかわりがうまくもてない子
- ・集団活動が苦手な子
- ・感情の起伏が大きな子
- ・学習の一部が極端に苦手な子
- ・学校など特定の場所でしゃべらない子など

## 指導のねらい

- ・一人ひとりに個別の指導計画を作成し、その子に合った課題と手続きで指導を進めます。
- ・一人ひとりに合った学び方を身につけさせます。
- ・コミュニケーション能力を高め、対人関係に必要なスキルを身につけ、社会性を育みます。
- ・感情をコントロールできるようにします。
- ・集団のルールに沿った生活が送れるようにします。
- ・学習や運動の苦手を軽減します。
- ・得意なところを伸ばし、自信をもたせます。
- ・児童生徒の自己決定の場を大切にし、進路についても考えられようにします。

## 指導の方法

- ・課題に応じて指導回数を決め、個別または小グループで指導を行います。
- ・保護者と指導の内容や学校での子どもの様子について相談する時間を持ちます。
- ・保護者と在籍校に、子どもの理解の仕方、接し方、家庭／教室環境の工夫等を提案します。
- ・必要に応じて、在籍校に出向いてケースカンファレンスを行います。
- ・保護者、在籍校の疑問や相談に応じます。
- ・指導終了後も、必要に応じてフォローアップしていきます。



## 通級指導の一例



①思うようにならないと、すぐパニックになり友だちとトラブルになるAさん。わがままで自分勝手だといわれます。

②担任や学校全体で、いろいろ工夫をしながら対応しましたが、なかなかうまくいきません。

③そこで保護者と話し合い、指導1課特別支援教育室に相談しました。

④通級での対応が決まると、担当者が本人や保護者、担任等と会い、Aさんの個別の指導計画を作り、行いました。

- ・通級→気持ちのコントロールの仕方、リラクソスの仕方、集中して課題を行うことを学習します。
- ・学校→予定の変更を事前に本人に伝えること、クラスにAさんも悩んでいることを伝えます。
- ・家庭→朝気持ちよく登校できるよう時間に余裕をもつ等工夫します。
- ・学校/家庭→Aさんの理解とかかわり方を学びます。

⑤少しずつAさんのトラブルが減ってきました。本人をほめ、クラスの協力に感謝を伝えます。

⑥落ち着きが増し、学校と家庭で対応できるようになりました。通級の定期指導を終了、必要に応じての相談になりました。

⑦Aさん、いろいろありますが、学校や家庭の理解の中、今日も元気に学校生活を送っています。